

2023

医療法人社団 誠和会



# はせだより

## 広報



## デイケアセンター “症例検討会” を開催しました

### ◆専門職が、みなさまの「自分らしい生活」を支援します

一昨年から取り組んでいる「SPPB評価」の運用と「通所C型」と呼ばれる要支援者の自立支援サービスの取り組みについて、どちらもご利用者さまの転倒率減少や機能回復、QOLの維持・向上に効果的であったことが報告されました。今後も専門職として生活の検討と提案を行ってまいります。

活力や生きがいのことを指します。集団体操では、活動量の増加と生活動作の維持・改善、やる気向上などの目的があり、筋力を増強して「できること」の選択肢を広げることで、生活の質向上を図っています。

訪問リハビリでは、新たに「作業療法士」による介入が行われており、理学療法士による運動機能の改善だけでなく、「住み慣れた場所で、その人なりの生活を送る」ための生活指導やリハビリでみなさまの支援をします。

デイケアでは「QOLを高める」方法として、「集団体操」を取り入れています。QOLは、“生活の質” “生命の質”とも言われており、



◀作業療法士による訪問リハビリの様子

作業療法士による訪問リハビリでは、ご本人さまの希望をもとに目標を設定、段階的に作業工程や時間を増やすことで、動作獲得を目指します。

## ◆ご協賛いただいた企業さまをご紹介します！



◀ネスレ日本株式会社 庄司さま  
当院で提供されている栄養食の展示と商品説明をしていただきました。



◀社会福祉法人光明会 明朗塾さま  
発表の合間に配られたおやつをご提供いただきました。

## 集団リハビリテーションを実施しました

### ◆ぽかぽか陽気と心地よい音色で「リフレッシュ」！

今回の集団リハビリテーションは、室内での演奏会と剣舞の披露を行いました。スタッフの「居合術」の迫力に、患者さまも息を呑んで見つめている様子でした。演奏会ではギターの弾き語りとトロンボーンの演奏が行われ、「とても楽しかったよ」と喜んでいただきました。



## JCHO船橋中央病院にて講演会を開講しました

### ◆「生きる」は「食べる」こと



▲講演会の様子

「JCHO船橋中央病院」にて開講された講演会にて、当院の副院長である菊池が講師として伺いました。内容は「NSTの早期介入が在宅復帰率の向上につながる」といったものです。NSTとは、患者さまの栄養管理を行い、状態を改善するために活動する他職種による連携チームです。当院でも大切にしている「お食事」は生命が活動するうえで必要不可欠です。よって、早期の介入・改善は病状回復や早期退院につながります。

## 入院・転院のご相談

<空所情報>※12/11現在  
回復期病棟(0床) 療養病棟(0床)  
ホームページで確認できます



医療法人社団誠和会長谷川病院  
■地域連携部(MSW): 渡邊、山本、安部  
TEL: 043(444)0137  
FAX: 043(444)0257  
HP: <http://www.hphasegawa.or.jp/wp/>

